

競技上・審判上の注意事項

1、競技上の注意

- ① 本大会は2024年度の公益財団法人「日本バドミントン協会」の定める競技規則及び大会運営規定、並びに公認審判員規定に基づいて競技を運営する。
- ② 試合は全て指定コートで行う。
コールされてから5分以内にコートに入らない場合は「失格」とする場合がある。
- ③ 各部リーグ戦を行い、2部と3部は2リーグの1位同士で決勝戦、2位同士で3位決定戦を行う。
- ④ チーム練習は未実施。トスの後、試合を開始する前に、3分間以内の練習を認める。（但し初戦のみ）
- ⑤ 競技中の事故（ケガ）については、応急処置の手配は行うが、以後の責任は負わない。

2、審判上の注意

- ① 全ての試合は21点3ゲームマッチで行い、20点オールになった場合、最大30点まで延長ゲームを行う。尚、試合の進行状況により、大会本部の判断で点数の変更をすることがある。
- ② 先行するサイドが11点になった時60秒以内、ゲーム間に120秒以内のインターバルを認める。
- ③ 対戦成績が2-0になっても第3ダブルスまで全てのゲームを行う。
2-0になった場合、相手チームの了承を条件に第3ダブルスのメンバーチェンジを認める。
※成績順位は第3ダブルスまでの結果で決める。
但し2部と3部の決勝と3位決定戦は、どちらかが2勝した段階で打ち切りとする。
- ④ サービスの際、シャトル全体が床面から115cm以下でなければならない。
- ⑤ 審判員は各チーム相互審判で行う（主審1名、線審2名）
主審は審判用紙に、勝者サイン・主審サイン・試合終了時刻を記入し、3試合分まとめて本部席に持参する。
- ⑥ アドバイスはインターバル時のみとする。但しコートに入れるのは2名までとする。
- ⑦ 着衣は原則として公益財団法人「日本バドミントン協会」公認の物を着用する。
- ⑧ 試合中のシャトル交換は、主審が必要かどうかを決める。

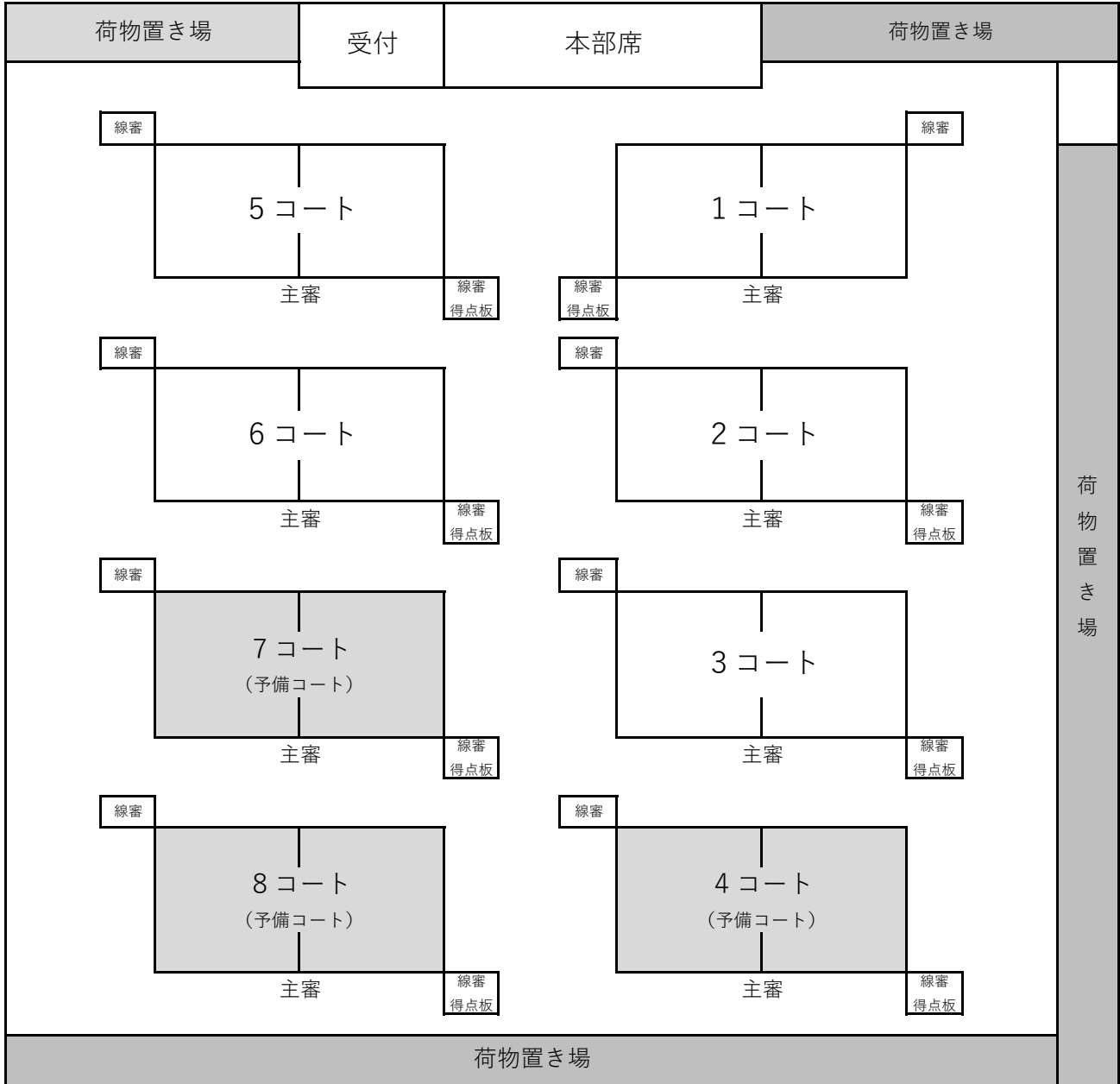
3、体育館使用上の注意

- ① 下駄箱は使用できません。靴袋等で各自保管する事。外履き・室内履きの区別を必ず行う事。
- ② アリーナ内の飲食は禁止する。アリーナ内ではキャップの出来る飲料のみ可とする。
昼食は2階の会議室で行う。
- ③ 体育館施設は敷地内全館禁煙です。
- ④ ゴミは各自必ず持ち帰る事。
- ⑤ 身の回り品の管理には各自十分注意する事。万一事故があった場合、責任は負わない。
- ⑥ 会場内での個人的な写真撮影・ビデオ録画は出来ません。
- ⑦ 大会結果等の記録写真はホームページに掲載公開されることがある。

4、その他の注意

- ① マスクの着用は任意とします。
- ② 閉会式は行いません。入賞者は準備が出来次第表彰します。

6月23日 団体戦大会 会場レイアウト



出場チーム数：1部4チーム・2部7チーム・3部7チーム・4部3チーム・女子の部3チーム 合計24チーム

本部当番：備品事前申請&当日受付＝S Qクラブ プログラムコピー＝保谷クラブ P C操作：住重F H

大会本部	楯会長・和田副会長・遠藤理事長
	司会進行：佐藤幸一 競技審判注意点：布施 審判長：菊池・佐藤政行
	大会進行・記録・放送・シャトル補充：S Qクラブ（小倉・野沢）・保谷クラブ（三澤・宮本）
	P C登録：住重F H（布施・山川）
	受付：S Qクラブ（小倉・野沢） 会計：山本・力丸 総務：小倉

大会役員	顧問	野村 美智子	姉松かつ代	
	大会会長	楯 篤志		
	副会長	和田 法夫		
	委員長	遠藤 誠司	(副) 布施 真一郎	浅川 嘉之
	会計	山本 ふみ代	力丸 英子	
	総務部	小倉 トシ子	佐藤 由紀代	野沢 和子 三澤 吾郎
競技部	福島 美記子	菊池 敏朗	佐藤 政行 宗形 一志 加藤 淳一 佐藤 幸一	